

第1学年 美術科学習案内

①全題材共通の評価規準

【関】 関心・意欲・態度	①元気に挨拶をし、遅刻・忘れ物・私語をせずに授業に取り組むことができる ②美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に授業に取り組むことができる。
【発】 発想・構想の能力	①見たり、感じたり、イメージしたことからテーマを生み出すことができる。②創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。(ii, iii) ①美的感覚を働かせて構成や装飾を考え、表現の構想を練ることができる。②伝える・使用するための機能を総合的に考え、表現の構想を練ることができる。(i, iv)
【創】 創造的な技能	①意図に応じて材料や用具を生かし、創意工夫して表現することができる。②制作の順序などを考えながら、見直しをもって表現することができる。
【鑑】 鑑賞の能力	①感性や想像力を働かせて、美術作品などからよさや美しさなどを感じ取り味わったり、美術文化を理解したりしている。

②各題材ごとの評価規準

(描) 描く活動 (つ) つくる活動

学期	題材名等	題材のねらいと学習の内容	評価の観点(規準)
1	i. レタリング 「BEAUTIFUL NAME」 (表・描)	身近なものの形や色に注目してよさや美しさ、楽しさを味わい、デザインすることの意味や効果について考え、自分のスケッチブックに名前をレタリングする。	関: 文字のデザインに関心をもつ。 発: 文字のバランスを考え、美しい形の表現を構想する。 創: 文字のデザインについて理解し、工夫して表現を考える。 鑑: 生活の中でデザインがどのように生かされているか考えながら鑑賞する。
	ii. 水彩画「しずる感」 (表・描)	水彩画のよさや美しさを自分なりの表現で楽しく描く。	関: 水彩画のよさや美しさに関心をもつ。 発: 水彩画のよさや美しさをスケッチなどを通して見つけ、作品に生かす発想をする。 創: 色彩や構図を工夫し、季節や時間などを表現できるような作品を制作する。 鑑: 作者の思いや意図を考えながら作品を鑑賞する。
2	iii. 彫刻「どうぶつの森」 (表・つ)	動物の特徴をとらえ、彫刻に表現したり、楽しく展示したりすることにより、立体造形や展示空間の表現のおもしろさ、楽しさを味わう。	関: 彫刻に表現するよさや楽しさ、美しさに関心をもつ。 発: 動物の姿を観察することから発想し、生命感のある表現を構想する。 創: 構想に適した材料や表現方法を選んで制作する。 鑑: 作者の意図や作品の展示方法に注目して鑑賞する。
3	iv. 木工「たくなる時計」 (表・つ)	木の素材のよさを味わいながら日常生活に活用できる時計を制作・鑑賞することにより、用の美について理解する。	関: 生活に生きる工芸デザインに関心をもつ。 発: 素材から発想し、使い方を考えながら構想する。 創: 木の素材の特徴を理解し、その生かし方を工夫して制作する。 鑑: 使いやすさや美しさを考えながら鑑賞する。